

「未来に残したい草原の里 100 選」 第 3 回選定地域が決まりました

- 美しい草原の風景を残す地域を 100 選として選ぶ国内初の取り組みで、2022 年度から始まり、過去 2 回の選定で合計 48 箇所の草原の里が選定されました。
- 2024 年 3 月に第 3 回の選定があり、全国から新たに 5 箇所が選定されました。
- 選考委員会は、湯本貴和京都大学名誉教授（委員長）、養老孟司氏などからなります。

- 草原がつくる風景は広々として心地よく、どこか懐かしい気持ちになります。かつて草原は、茅葺き屋根の材料を得たり牛馬を放したりと、日本の暮らしを支える存在でしたが、今では国土の 1% にまで激減しました。一方近年では、観光資源として優れ、多くの希少動植物が暮らすなど、多様な価値が見直されています。こうした草原の維持活用には、人の営みが不可欠であることが特徴と言えます。

- そこで、「全国草原の里市町村連絡協議会」（会長：中村義明小谷村長）では、全国に残る草原とその里に光を当て、人と自然の関わりの中で培われてきた知識や技術、人々の想いを次世代へ受け継ぐため、国内初となる「未来に残したい草原の里 100 選」の選定事業を 2022 年度より開始しました。2022 年度、23 年度の 2 回の選定で、全国から 48 箇所の草原の里が選定されました。



未来に残したい
草原の里
100選

- 2023 年秋より第 3 回目の募集を始め、2024 年 3 月に複数の有識者からなる選考委員会（委員長：湯本貴和京都大学名誉教授）が開催されました。新たに 5 箇所の地域が、「未来に残したい草原の里 100 選」として選定されました。
- 3 回の選定を経て、「草原の里」の総数は 53 箇所となりました。



■ 本リリースに関するお問合せ

全国草原の里市町村連絡協議会 事務局 担当：澁谷

〒399-9494 長野県北安曇郡小谷村大字中小谷丙 131 小谷村教育委員会 社会教育係

Tel: 0261-82-2587 Email: sogen100@sogen-net.jp メールアドレスへのご連絡を推奨しています。

<資料 1> 今回選定された「未来に残したい草原の里 100 選」の名称および位置

番号	草原の里名称	所在市町村
1	おたり 小 谷	長野県小谷村
2	たかしみずしぜんこうえん ぐんせいち 高 清 水 自 然 公 園 ひめさゆり 群 生 地	福島県南会津町
3	やまなかこむらみょうじんやま そうげん 山 中 湖 村 明 神 山 の 草 原	山梨県山中湖村
4	ぼうがつるしつげん 坊 ガツル 湿 原	大分県竹田市
5	しんじょうそん たなみきょうどしぜんほごちく 新 庄 村 田 浪 郷 土 自 然 保 護 地 区	岡山県新庄村



<資料 2> 選定地の連絡先

番号	都道府県	草原の里名称	応募者（団体）の名称	担当者所属	担当者	電話番号
1	長野県	おたり 小谷	小谷村教育委員会	小谷村教育委員会 社会教育係	澁谷 祥充	0261-82-2587
2	福島県	たかしみずしぜんこうえん 高清水自然公園ひ ぐんせいち めさゆり群生地	南会津町	南会津町南郷総合 支所振興課企画観 光係	高倉 駿平	0241-72-2900
3	山梨県	やまなかこむらみょうじんやま 山中湖村明神山の のそうげん 草原	平野入会組合	平野入会組合	渡辺 敬介	0555-65-6600
4	大分県	ぼうが つ る しつげん 坊ガツル湿原	坊ガツル野 焼き実行委 員会	（事務局）公益財 団法人九電みらい 財団	黒仁田 瑞洋	092-982-4627
5	岡山県	しんじょうそんたなみきょうど 新庄村 田浪郷土 しぜん ほ ご ち く 自然保護地区	新庄村	新庄村総務企画課	山田 幸紀	0867-56-2646

＜資料 3＞ 未来に残したい草原の里 100 選について

趣旨

かつて、日本の暮らしは草原によって支えられてきました。縄文時代から建築物に茅が使われはじめ、農耕が始まってからは、肥料や敷草、堆きゅう肥の材料として、また、物資の運搬や耕耘などの作業を担う牛や馬の飼料として草が必要でした。ワラビやゼンマイなどの食物、衣料としての苧麻（カラムシ、チョマ）、センブリやオトギリソウなどの薬草を得る場として、あらゆる面で草原の恵みを受けながら、暮らしが営まれてきました。限られた土地の中で資源を最大限に活用するため、草原を利用するルールや火入れ（山焼きや野焼きなど）の技術が日本各地で生み出され、引き継がれてきました。草原と共にある暮らしはさらに、秋の七草を愛で、盆には草花を備えるなど、豊かな心情や文化も醸成してきました。

しかし、高度経済成長期以降、草原は国土の 1%にまで激減しています。

失われつつある草原の自然と人々の営みをめぐって議論を重ねる中で、草原のある里で育まれてきた「過去のものと思われていた」技術や知恵こそが、これからの持続可能な社会を実現する上で欠かせないものであることが分かってきました。そこで、2018 年 7 月 4 日に、全国 23 自治体の首長が組織する「全国草原の里市町村連絡協議会（連絡協議会）」は環境省に「全国草原の里 100 選」の検討を進めていくことについて要望書を提出し、連絡協議会として選定事業を推進しています。

「共創資産」を引き継ぐ

地域における草原と向き合い方は、人々の草原への働きかけと草原からのフィードバックが繰り返されることで、経験的に紡がれてきたものです。人と自然との長年にわたるやり取りにより地域に蓄積された知識・意識・技術、それこそが草原の里が持つ価値です。この価値あるものを「共創資産」と捉えました。日本各地の草原の里にはそれぞれに共創資産が残されているはずで、各地に残る「共創資産」を日本全体で共有し、活用していくことで、次世代に希望のある自然共生型社会をつくることが「未来に残したい草原の里 100 選」を実施する目的です。

選定の視点

草原の生態系と人々が暮らす里との関係性が作りだした「共創資産」を軸に、以下の観点から選考を行います。

- (1) 生物多様性の保全
- (2) 草原を維持するしくみや、価値を享受するしくみ
- (3) 草原に対する思いの強さ
- (4) 共生型社会の実現に向けた波及効果（ロールモデルとしての期待）

未来に残したい草原の里 100 選 選考委員会：

委員長 湯本貴和（京都大学名誉教授）および学識者等の有識者によって構成　＜資料 4＞

主　催：全国草原の里市町村連絡協議会

後　援：環境省、農林水産省

協　力：日本自然保護協会、日本茅葺き文化協会、全国草原再生ネットワーク

＜資料 4＞ 未来に残したい草原の里 100 選 選考委員会名簿

（委員長）

湯本 貴和 京都大学名誉教授、中部大学客員教授、京都芸術大学客員教授

（委 員）

安藤 邦廣 筑波大学名誉教授、一般社団法人日本茅葺き文化協会代表理事

河野 博子 ジャーナリスト、一般財団法人自然環境研究センター理事

高橋 佳孝 一般社団法人全国草原再生ネットワーク代表理事

長沢 裕 タレント、公益財団法人日本環境教育フォーラム理事

中村 義明 全国草原の里市町村連絡協議会会長、小谷村長

町田 怜子 東京農業大学教授

養老 孟司 東京大学名誉教授

（2024 年 3 月 30 日時点、敬称略、五十音順）

＜資料 5＞ 今後の予定

2024 年秋頃 認定書授与式

未来に残したい日本の草原 2024（仮称）冊子の作成・公表

第四次選定の公募開始

2025 年春頃 第四次選定

＜参 考＞

全国草原の里市町村連絡協議会について

草原をもつ自治体間の連携と草原保全を進めることを目的として、2016 年 11 月に発足しました。現在、24 市町村により構成されています（現事務局：長野県小谷村）。2019 年の定時総会において、「未来に残したい草原の里 100 選」の選定事業を進めていくことを決めました。

■ 本リリースに関するお問合せ

全国草原の里市町村連絡協議会 事務局 担当：澁谷

〒399-9494 長野県北安曇郡小谷村大字中小谷丙 131 小谷村教育委員会 社会教育係

Tel: 0261-82-2587 Email: sogen100@sogen-net.jp

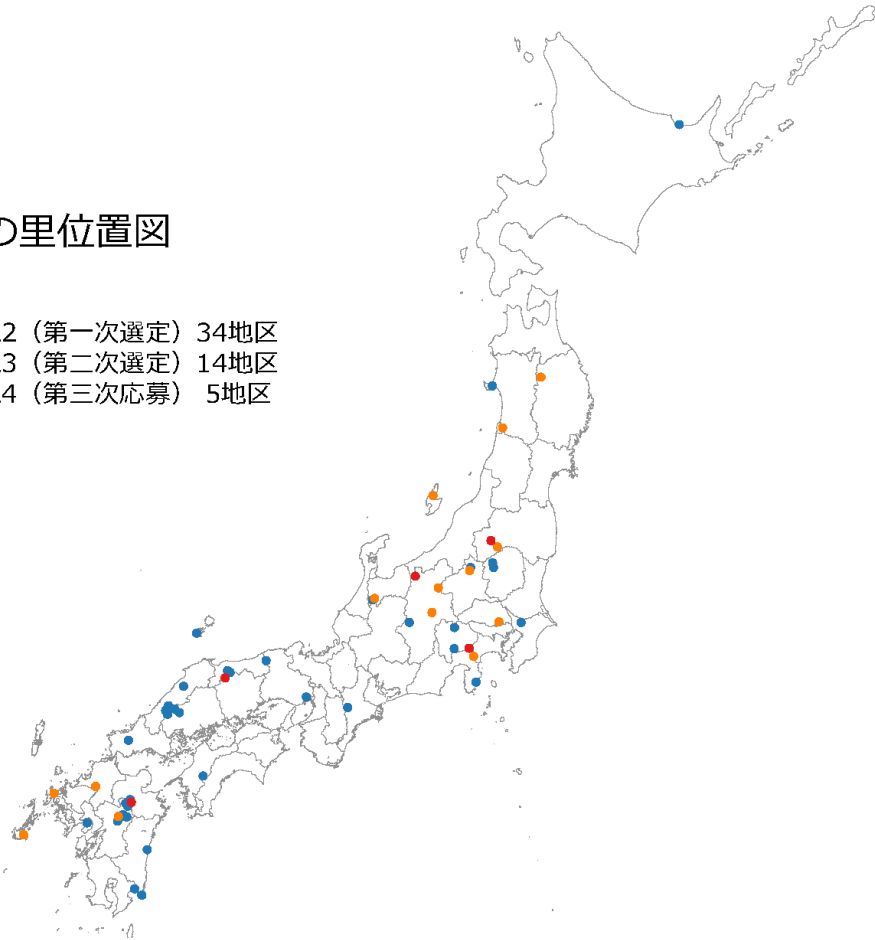
メールアドレスへのご連絡を推奨しています。

参考

【第一次選定（2022）～第三次選定（2024）の草原の里（53 地区）】

草原の里位置図

【凡例】
青：2022（第一次選定）34地区
橙：2023（第二次選定）14地区
赤：2024（第三次応募）5地区



里番号	選定年	草原の里	所在地	里番号	選定年	草原の里	所在地	里番号	選定年	草原の里	所在地
1	2022	小清水原生花園	北海道小清水町	19	2022	深入山	広島県安芸太田町	37	2023	鉄山	福島県南会津町
2	2022	寒風山	秋田県男鹿市	20	2022	芸北	広島県北広島町	38	2023	玉原湿原	群馬県沼田市
3	2022	土呂部の草原を次代にー日光茅ポッチの会	栃木県日光市	21	2022	秋吉台	山口県美祿市	39	2023	田島ヶ原サクラソウ自生地	埼玉県さいたま市
4	2022	キスケ平	栃木県日光市	22	2022	大野ヶ原の草原	愛媛県西予市	40	2023	箱根の仙石原	神奈川県箱根町
5	2022	入会の森「上ノ原茅場」	群馬県みなかみ町	23	2022	奥雲仙田代原草原	長崎県雲仙市	41	2023	ドンデン高原	新潟県佐渡市
6	2022	谷田武西の原っぱと森の会	千葉県印西市	24	2022	阿蘇市	熊本県阿蘇市	42	2023	相倉集落	富山県南砺市
7	2022	菅沼	富山県南砺市	25	2022	阿蘇・南小国町	熊本県南小国町	43	2023	菅平高原・峰の原高原	長野県上田市、須坂市
8	2022	乙女高原ファンクラブ	山梨県山梨市	26	2022	熊本県小国町	熊本県小国町	44	2023	霧ヶ峰	長野県諏訪市、茅野市、下諏訪町
9	2022	木曾町開田高原	長野県木曾町	27	2022	産山村	熊本県産山村	45	2023	城と翁とスキーの基山の草原	佐賀県基山町
10	2022	富士宮市根原区朝霧草原	静岡県富士宮市	28	2022	高森町	熊本県高森町	46	2023	中瀬草原	長崎県平戸市
11	2022	稲取地区特別財産運営委員会	静岡県東伊豆町	29	2022	南阿蘇村	熊本県南阿蘇村	47	2023	五島・鬼岳	長崎県五島市
12	2022	東お多福山草原	兵庫県神戸市	30	2022	御船町	熊本県御船町	48	2023	西原村	熊本県西原村
13	2022	上山高原	兵庫県新温泉町	31	2022	くじゅう飯田高原	大分県九重町	49	2024	高清水自然公園ひめさゆり群生地	福島県南会津町
14	2022	菅間高原を守る会	奈良県菅間村	32	2022	都井岬	宮崎県串間市	51	2024	山中遊村明神山の草原	山梨県山中湖村
15	2022	大山隠岐国立公園鏡ヶ成保全再生活用協議会	鳥取県江府町	33	2022	笠紙・古竹草原	宮崎県串間市	50	2024	小谷	長野県小谷村
16	2022	三瓶山麓草原の里	島根県大田市	34	2022	川南町	宮崎県川南町	52	2024	新庄村田浪郷土自然保護地区	岡山県新庄村
17	2022	西ノ島町	島根県西ノ島町	35	2023	安比高原・遊々の森	岩手県八幡平市	53	2024	坊ガツル湿原	大分県竹田市
18	2022	蒜山高原	岡山県真庭市	36	2023	冬餅湿原	秋田県にかほ市				